

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第4278671号
(P4278671)

(45) 発行日 平成21年6月17日(2009.6.17)

(24) 登録日 平成21年3月19日(2009.3.19)

(51) Int.Cl. F 1
A 6 1 H 15/00 (2006.01) A 6 1 H 15/00 3 1 0

請求項の数 1 (全 6 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2006-269453 (P2006-269453) (22) 出願日 平成18年9月1日(2006.9.1) (65) 公開番号 特開2008-55126 (P2008-55126A) (43) 公開日 平成20年3月13日(2008.3.13) 審査請求日 平成18年10月6日(2006.10.6)</p>	<p>(73) 特許権者 505420068 中島 良行 静岡県静岡市葵区新伝馬2丁目8-65-1 (74) 代理人 100082913 弁理士 長野 光宏 (72) 発明者 中島 良行 静岡県静岡市葵区新伝馬2丁目8-65-1 審査官 長谷川 一郎</p>
---	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ウエストマッサージ器

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

横長長尺状の本体ローラーカバー(1)の内側に縦長で断面を内側に腕状態にさせた突起ローラーカバー(3)を複数設け、各突起ローラーカバー(3)の内側に複数の突起を有する突起ローラー(2)を取り付け、該本体ローラーカバー(1)の両側に長さを調節できる位置調整ベルト(6)を介して円環状の腕ベルト(5)を取り付け、該腕ベルト(5)はどの部位でも取り付け可能となるように該腕ベルトに面ファスナーを設け、突起ローラー(2)を腹部に当てた状態で該腕ベルト(5)を両腕に巻着し、以てウォーキング時・ジョギング時・歩行運動器具使用時に左右の腕を前後に振ることにより本体ローラーカバー(1)が左右に往復し、それによって腹部に接触している突起ローラー(2)が回

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は本体ローラーカバーに連結してある両腕の腕ベルトをとおして腕の前後動作により突起ローラーを回転させ腹部の脂肪をマッサージするウエストマッサージ器である。

【背景技術】

【0002】

従来、片手で突起のあるローラーを持って腹部の脂肪に押し付けながら回転させたり、

20

両手で紐・ベルト状体、あるいは棒状の持ち手を引っ張りながらローラーを腹部に押し付けて回転させ、マッサージをしていた。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

そのために、次のような問題点があった。

(1) 手で持って押し付けながらローラーを回転させる方法では動作が大変で疲れるため長い時間はできず十分なマッサージができない。

(2) 手に持つ方法では単純な往復動作のため飽きてしまい腹部のマッサージのためだけに時間を費やすのは難しい。

【課題を解決するための手段】

【0004】

上記課題を解決するために、本発明は、布状の本体ローラーカバーに突起のあるローラーを取り付けその両端に腕に装着するための腕ベルトを設けたウエストマッサージ器を提供する。

すなわち、本発明は、横長長尺状の本体ローラーカバー(1)の内側に縦長で断面を内側に椀状態にさせた突起ローラーカバー(3)を複数設け、各突起ローラーカバー(3)の内側に複数の突起を有する突起ローラー(2)を取り付け、該本体ローラーカバー(1)の両側に長さを調節できる位置調整ベルト(6)を介して円環状の腕ベルト(5)を取り付け、該腕ベルト(5)はどの部位でも取り付け可能となるように該腕ベルトに面ファスナーを設け、突起ローラー(2)を腹部に当てた状態で該腕ベルト(5)を両腕に巻着し、以てウォーキング時・ジョギング時・歩行運動器具使用時に左右の腕を前後に振ることにより本体ローラーカバー(1)が左右に往復し、それによって腹部に接触している突起ローラー(2)が回転し腹部の脂肪を刺激マッサージするようにしたことを特徴とするウエストマッサージ器を提供するものである。

【発明の効果】

【0005】

本発明は両腕に装着した腕ベルトにより突起ローラーが腕を前後動作することにより、手で持って押し付けながらローラーを回転させる動作をしなくても、ウォーキング時・ジョギング時・歩行運動器具等使用時に使用できるため、手が疲れたり飽きてしまうということはなく十分なマッサージを継続的に行なうことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

以下、本発明の実施の形態について説明する。

(イ) 布状、ゴム、皮革類、ベルト状の本体ローラーカバー(1)にマッサージ器具の突起ローラー(2)を取り付け、またローラーカバー(1)に変わる紐状体の場合にもマッサージ器具の球形ローラー(14)を取り付ける。

(ロ) 本体ローラーカバー(1)の両側に長さを調節できるベルト状体等の位置調整ベルト(6)を取り付ける。

(ハ) 位置調整ベルト(6)の両側に腕に装着するためのベルト状体の腕ベルト(5)を面ファスナー(4)にて取り付ける。

(ニ) 腕ベルト(5)を腕に固定するため、または取り外しがしやすいように面ファスナー(4)を設ける。

本発明は、以上の構成でなっている。

本発明を使用するときは本体ローラーカバー(1)の両端にある腕ベルト(5)の一方を前腕後部または上腕前部にまきつけ面ファスナー(4)にて装着する。突起ローラー(2)を腹部に当てながら、もう一方の腕ベルト(5)を前腕後部または上腕前部に巻きつけ面ファスナー(4)にて装着する。左右の腕を前後あるいは後方に引く事で本体ローラーカバー(1)が腹部に接触する。この時だぶついたり左右の腕の間隔が近すぎる場合には位置調整ベルト(6)と調整具(7)にて長さを調節して腹部に密着できるようにする。

10

20

30

40

50

ウォーキング時・ジョギング時・歩行運動器具等使用時に左右の腕を前後に振ることにより本体ローラーカバー（１）が左右に往復し、それによって腹部に接触している突起ローラー（２）が回転し腹部の脂肪を刺激マッサージすることができる。

【参考例 1】

図 3 に示すように布状、ゴム、皮革類、ベルト状の本体ローラーカバー（１）にくらべ突起ローラー（２）がプラスチック等の素材である一体化ローラーカバー（１０）に固定されているため回転しやすく腹部に押し当てやすいようにすべての突起ローラー（２）を一体化ローラーカバー（１０）に取り付けた形態を用いてもよい。

【参考例 2】

図 4 に示す様にローラーが回転しやすいように突起ローラーに替えて全方向に可動するロールマッサージ器（１１）とすることができる。

10

【参考例 3】

図 5 に示すように本体ローラーカバー（１）をウエスト全体に効果が出るように腹巻状のウエストベルト（１２）として突起ローラー（２）を前後左右に装着できる形態とするともできる。

【参考例 4】

図 6 に示す様に本体ローラーカバー（１）・突起ローラー（２）を腹部に密着しやすいように、また持ち運びや保管しやすいように球形ローラー用軸（１５）に紐状体（１３）を等間隔に連結する形態とするともできる。

【参考例 5】

図 7 に示すように突起ローラー（２）がまんべんなくウエストを刺激マッサージできるようにキャタピラ状の平面板に突起を設けた形態を用いてもよい。

20

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 7 】

【図 1】 本発明の斜視図

【図 2】 本発明の斜視図

【図 3】 本発明の一例を示した図

【図 4】 本発明の一例を示した図

【図 5】 本発明の一例を示した図

【図 6】 本発明の一例を示した図

【図 7】 本発明の一例を示した図

【図 8】 本発明の使用状態を示す斜視図

【図 9】 本発明の使用状態を示す斜視図

30

【符号の説明】

【 0 0 0 8 】

1 本体ローラーカバー

2 突起ローラー

3 突起ローラーカバー

4 面ファスナー

5 腕ベルト

6 位置調整ベルト

7 調整具

8 留め具（小）

9 留め具（大）

10 一体化ローラーカバー

11 ロールマッサージ器

12 ウエストベルト

13 紐状体

14 球形ローラー

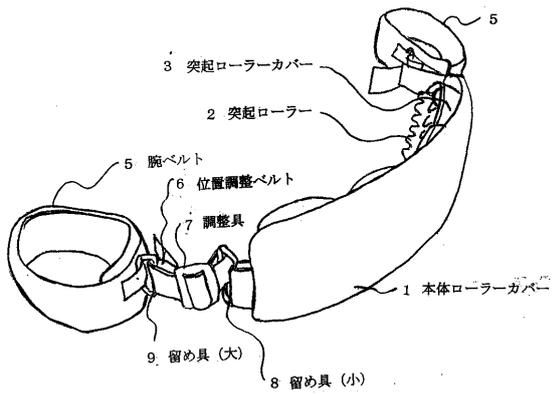
15 球形ローラー用軸

40

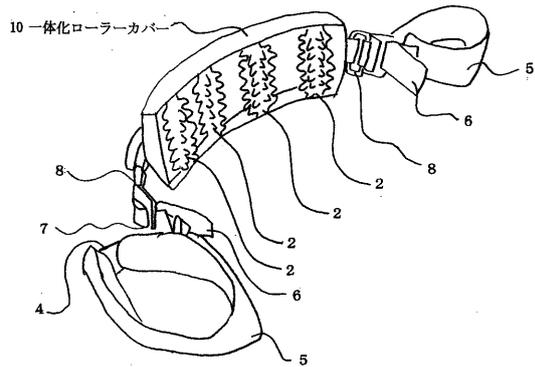
50

- 16 変形ローラー軸
- 17 キャタピラ状指圧具

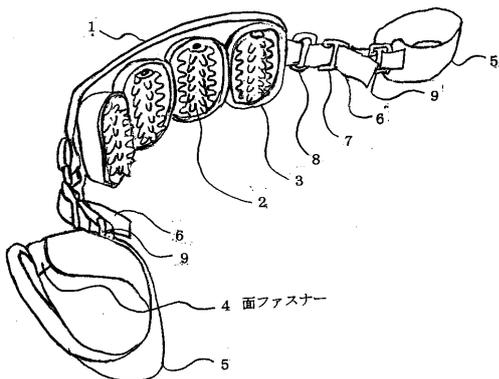
【図1】



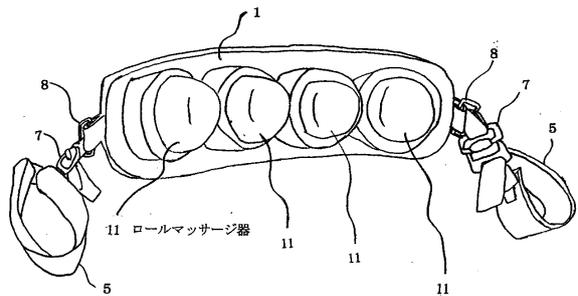
【図3】



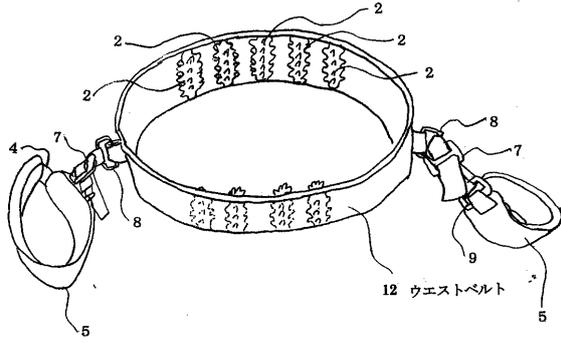
【図2】



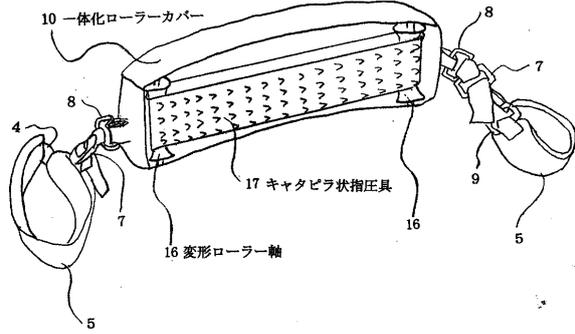
【図4】



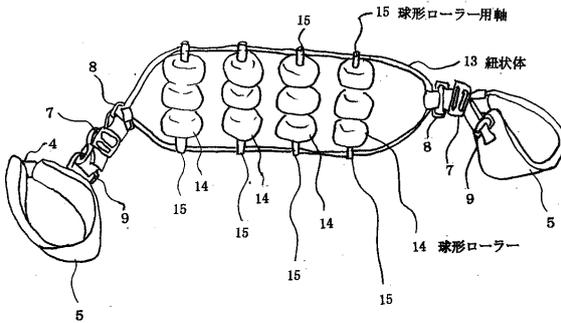
【図5】



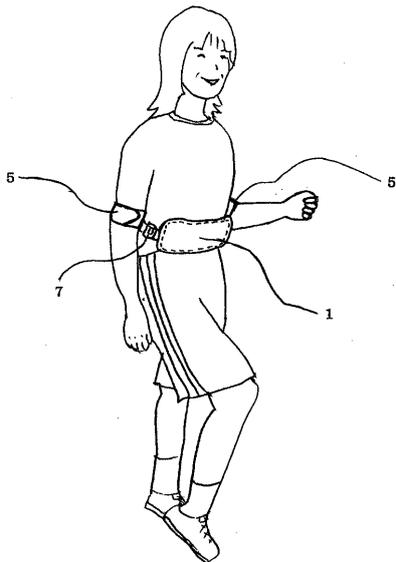
【図7】



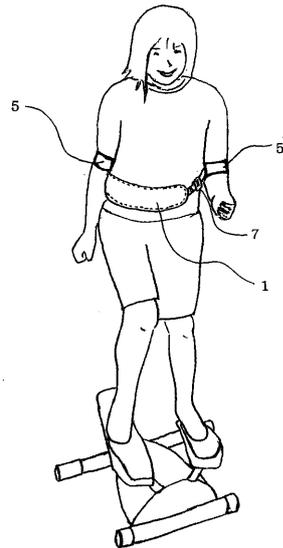
【図6】



【図8】



【図9】



フロントページの続き

- (56)参考文献 登録実用新案第3052780(JP,U)
実開平05-091655(JP,U)
特開平10-146375(JP,A)
特開平11-267167(JP,A)
国際公開第2006/020855(WO,A1)
特表2008-513047(JP,A)
登録実用新案第3102468(JP,U)
登録実用新案第3086456(JP,U)
特開2000-000285(JP,A)
特開平07-131697(JP,A)
実開平04-133834(JP,U)
登録実用新案第3112564(JP,U)
特開2005-245612(JP,A)
特開2004-261531(JP,A)
特開平06-238012(JP,A)
特開2000-093445(JP,A)
特開平06-054877(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A61H 15/00